

令和元年 11 月 22 日

関係各位

熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座
教授 片渕秀隆

拝啓

熊本地震で被災し東町に移転・新築された熊本市民病院の診療が 10 月 7 日に再開しました。昭和 51 年 4 月以来 44 年ぶりに熊本大学からスタッフを派遣することになりました。私が丁度入学した年で不思議な因縁を感じます。私が 2 年目に研修した病院の部長が「新しい病院に医局員を派遣する時は、教授は自分の片腕と思う人材に託すべき」と言われていたことが何故かずっと心に残り今回を迎えました。私にとって現実にはない 3 本の腕である本田律生、大竹秀幸、三好潤也の 3 人の部長を核に 5 人に着任してもらいました。先日開催された熊本県周産期医療協議会の報告では、NICU の 7 週間の入院数は 47 例、極小出生体重児は 9 例で、熊本地震前の 1 年間の総数をはるかに凌ぐペースであり少し懸念の発言があった一方、産婦人科病棟は 50.4%の稼働率で、外来受診数共に順調に増加しているようです。来年 4 月には 8 人体制とし MFICU を再開します。

7 月に就任した英国のポリス・ジョンソン首相の言動では話題に事欠かないこの半年です。北海道大学の遠藤 乾教授が毎日新聞の『激動の世界を読む』に寄せた「英国の分断が招く危機」の中に、興味あるポリス評価の記述がありました。心理学者ニック・ダッフエル氏によると、「比較的若い時分に親の愛情から切り離された寄宿舎育ちの英エリートには、自らの脆弱性や幼児性を表面的な自信や快活さ、場合によっては攻撃性で覆い隠す傾向がある。そうしないと、自尊心を保った形で生き残れないのだ」。8 作も続く人気映画シリーズとなっている『ハリー・ポッター』にも描かれているあの寄宿制学校は英国では上流階級の師弟の教育機関で、ジョンソン首相も私立名門校パブリックスクール・イートン校からオックスフォード大学に進学しています。日本にも親元から離れた中学・高校の一貫教育を実践している学校がみられます。小学校を卒業したばかりのまだ子どもが大人に近い 6 歳も上の最上級生と団体生活することを想像すると、あくまでも私見ですが親の愛情に優る生活環境はないように思えます。

12 月と新年 1 月の予定表を同封致しました。12 月 27 日（金）の午後 7 時から、恒例の忘年会をホテル日航熊本で行います。今年は、教室と熊本市民病院の合同開催です。沢山のご来場をお待ちしております。

敬具